

指導の手引き 11. 日常生活(1)

<b>shirt</b>		<b>シャツ</b>
英語らしい音を出すコツ	irは口を広げずに長く発音する。狭めた唇の間から出す「ウー」にも「アー」にも聞こえる曖昧な音。単数の場合は、語尾が「ツ」にならないよう注意する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。1枚のシャツは、a shirt。複数形は shirts。sを付けるが、tとsを続けて発音するのではなく、「ツ」のような音になる。	
文化的な情報、応用表現など	英語ではワイシャツも shirt と呼び、肌着のシャツ (undershirt) も shirt と呼ぶことがある。	

<b>sweater</b>		<b>セーター</b>
英語らしい音を出すコツ	「セー」ではなく「ウェ」にアクセント。wea は短く発音し「スウェタ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	元来は「汗 (sweat) をかくための衣類」という意味。	

<b>pants</b>		<b>ズボン</b>
英語らしい音を出すコツ	「エ」の口をして「ア」と言う。	
文法的な注意事項	常に複数形。They are good pants. 「それは良いズボンだ」と言う。This pants is good. や This is my pants. は間違い。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ英語でズボンを pants と言い、下着のパンツは underpants と呼ぶ。イギリス英語では、pants は下着であり、ズボンは trousers (-rou-は「ラウ」と発音) とする。	

<b>hat</b>		<b>帽子</b>
英語らしい音を出すコツ	「エ」の口をして「ア」と言う。最後のt は「ト」にしないように、舌先を上歯の裏にしっかり当てて止める。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。1つの帽子は、a hat。語尾の発音は cat と同じ。複数形は hats。sを付けるが、tとsを続けて発音するのではなく、「ツ」のような音になる。	
文化的な情報、応用表現など	つばがぐるりと一周しているものを hat と呼ぶ。なお、hat のつばは brim と呼ぶ。	

<b>T-shirt</b>		<b>Tシャツ</b>
英語らしい音を出すコツ	Tとshirt に均等にアクセント。Tのあとに shirt を発音すればよい。shir は口を広げずに狭めた唇の間から長く発音する。「シュー」にも「シャー」にも聞こえる曖昧な音。単数の場合は、語尾が「ツ」にならないよう注意する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。一枚なら a T-shirt。複数形は T-shirts。	
文化的な情報、応用表現など	tee shirt とつづることもある。シンプルな形がアルファベットのTに見えるのでそう呼ばれる。	

<b>shorts</b>		<b>ショートパンツ</b>
英語らしい音を出すコツ	shirtと聞き違えられないよう、口をしっかり開けて「オー」と発音する。語尾が「ツ」にならないように注意する。	
文法的な注意事項	常に複数形。They are good shorts. 「それは良い短パンだ」と言う。This shorts is old. や This is your shorts. は間違い。	
文化的な情報、応用表現など	女性用肌着 (underpants) も shorts と呼ぶことがある。また、アメリカでは男性用下着を shorts と呼ぶ。ショートパンツ (短パン) なのか下着なのかは、文脈で判断するのがよい。	

<b>cap</b>		<b>帽子</b>
英語らしい音を出すコツ	日本語の外来語としては「キ」に拗音(ちいさい「ゃ」)を添えて「キャップ」と表記するが、英語としては、このaは map や happy のaと同じ、「エ」と「ア」の中間の音なので、「メアプ」というつもりで発音するのが原音に近い。なお、最後の p は両唇が閉じる。「プウ」と吐き出さないように注意。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	野球帽のように、前だけにつばがあるものやつばがないものは cap と呼び hat と区別する。capのつばはアメリカ英語では visor (バイザー)、イギリス英語では peak (ピーク) と呼ぶ。	

<b>boots</b>		<b>ブーツ</b>
英語らしい音を出すコツ	唇をしっかり丸めて突き出し力強く「ブー」を発音する。	
文法的な注意事項	通常は複数形。They are good boots. 「それは良いブーツだ」のように言う。This boots is good. や This is my boots. は間違い。ただし片足分だけを話題にするなら、This is your boot. とか Where is my boot. とする。	
文化的な情報、応用表現など	雨用の長靴も boots でよい。漁業などで使うゴム長は rubber boots と言ってもよい。	